

# 高圧ガス製造設備保安検査点検表(液石則第6条関係・第1種製造設備)

## 1.事業所概要

事業所名称																										
事業所所在地		〒																								
許可年月日・番号		年 月 日					第 号																			
処 理 能 力		Nm <sup>3</sup> / 日																								
製 造 設 備	貯 槽	容 量 焼とん	No.1		有 t 無		No.2		有 t 無		No.3		有 t 無		No.4		有 t 無									
		開放検査	年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月											
	処 理 設 備	名 称																								
		処理能力	Nm <sup>3</sup> / 日		Nm <sup>3</sup> / 日		Nm <sup>3</sup> / 日		Nm <sup>3</sup> / 日		Nm <sup>3</sup> / 日		Nm <sup>3</sup> / 日		Nm <sup>3</sup> / 日		Nm <sup>3</sup> / 日									
		開放検査	年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月									
保 安 検 査		年 月 日					氏名					印					氏名					印				
協 会 指 導		年 月 日					氏名					印					氏名					印				
立 会 者		保 安 検 査		氏名					印					協 会 指 導		氏名					印					

## 2.記録簿

危 害 予 防 規 程	S・H・R 年 月 日 認 可 ・ 届 出 有 ・ 無									
保 安 教 育 計 画	保安教育計画書		S・H・R 年 月 日 有 ・ 無							
	今年度の策定状況		有 ・ 無 適 ・ 否							
定 期 自 主 検 査	自 年 月 日 至 年 月 日		実施者							
申請書類等の整備	適 ・ 否		月 例 点 検		適 ・ 否					
基準類の整備状況	適 ・ 否		日 常 点 検		適 ・ 否					
設備台帳補修記録	適 ・ 否		受 払 記 録		適 ・ 否					
保安教育実施記録	有 ・ 無		充 填 記 録		適 ・ 否					
周知書面交付記録	有 ・ 無		容器底部検査記録		適 ・ 否					
防災訓練実施記録	有 ・ 無		実 施 日		年 月 日					

## 3.保安管理組織

保安統括者	職 氏名 :	同 代 理 者	職 氏名 :
保 安 技 術 管 理 者	氏名 : 免状 : 講習 : H・R 年	同 代 理 者	氏名 : 免状 : 講習 : H・R 年
保 安 係 員	氏名 : 免状 : 講習 : H・R 年	同 代 理 者	氏名 : 免状 : 講習 : H・R 年
保 安 係 員	氏名 : 免状 : 講習 : H・R 年	同 代 理 者	氏名 : 免状 : 講習 : H・R 年

\* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

#### 4 - 1 . 定置式製造設備に係る技術基準 (液石則第6条関係)

##### (1)製造設備等

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
1 . 境 界 線 警 戒 標	目 視	製造事業所 境界線の明示 : 有 ・ 無 警戒標の設置 : 有 ・ 無 ローリー停車位置 停車位置の明示 : 有 ・ 無 警戒標の設置 : 有 ・ 無	適  不適	第1項第1号  例示基準1
2 . 設備距離	計 測 目 視	第1種設備距離 : 法定 m、実測 m 第2種設備距離 : 法定 m、実測 m	適 不適	第1項第2号
3 . 障 壁 4 . 距 離 の 緩 和	目 視 試 験 記 録	障 壁 : 高 さ m × 厚 さ cm 水噴霧装置 : 毎分 7 L/m <sup>2</sup> L/m <sup>2</sup>	適 不適	第1項第3号 第1項第4号 例示基準2 , 3
5 . 埋設貯槽 6 . 腐食防止 措 置	目 視 計 測 記 録	貯槽室 : 有 ・ 無 方 法 : 乾燥砂 ・ 水没 ・ 強制換気 ガス漏れ警報設備 : 点 ( 2 個 / 1 基以上 )	適 不適	第1項第5号 第1項第6号 例示基準 4 , 5 , 6 , 7
7 . 火気取扱 施設との距離	計 測 目 視	法 定 距 離 : 8 m 実測 m 流動防止装置 : 有 ・ 無 流動防止装置の種類 : ( )	適 不適	第1項第7号  例示基準8
8 . 貯 槽 間 距 離	計 測 目 視 試 験	1 m又は最大直径の和の1/4以上のいずれか大 法 定 : m 実測 m 水噴霧装置 : 毎分 7 L/m <sup>2</sup> L/m <sup>2</sup> 操 作 位 置 : 法定 15m 実測 m	適 不適	第1項第8号  例示基準3
9 . 貯 槽 の 表 示	目 視	「LPガス」の朱書き : 有 ・ 無 埋設貯槽の標識の掲示 : 有 ・ 無	適 不適	第1項第9号 例示基準9
12 . 滞留防止 措 置	目 視 記 録	製造設備・消費設備を設置する室、容器置場の2 方向以上の開口部又は換気装置 有 ・ 無	適 不適	第1項第12号 例示基準11
13 . 気密構造 18 . 気密試験	試 験 目 視	製造設備は常用以上の圧力で漏えいしない。 試 験 圧 力 : MPa 使用ガス名 :	適 不適	第1項第13号 第1項第18号 例示基準15
14 . 材料規制	記 録	安全な化学的成分及び機械的性質を有するものであること	適 不適	第1項第14号 例示基準12
15 . 基 礎 の 緊 結	目 視 記 録	貯槽(1 t 以上)の支柱は同一の基礎に緊結すること。	適 不適	第1項第15号 例示基準13
16 . 沈下状況 測定	計 測 記 録	毎年1回以上測定し、その記録を保管する。 計測年月日 : 年 月 日	適 不適	第1項第16号 細目告示10条 例示基準14
17 . 耐圧試験	記 録	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧力で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 高圧ガス設備の開放検査の結果 : 適 ・ 否	適 不適	第1項第17号  例示基準15

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
19．肉厚計測	計 測 記 録	記録の保存：有・無 計測年月日：年 月 日	適 不 適	第1項第19号 例示基準16
20．耐震構造	目 視 記 録	地震の影響に対し安全な構造とすること。	適 不 適	第1項第20号 耐震告示
21．圧 力 計	目 視 記 録	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示：有・無 有効年月日の表示：有・無 試験年月日：年 月 日	適 不 適	第1項第21号 細目告示第7条 例示基準17
22．安全装置	試 験 記 録	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管すること。 吹始圧：設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧：設定圧力の80%以上	適 不 適	第1項第21号 告示第7条の2 例示基準17
23．放 出 管	目 視	貯槽に設置：地盤面5m又は貯槽頂部2m以上 その他の高圧ガス設備：建築物、工作物以上 開口部レインキャップ：有・無 開口部付近の着火源：有・無	適 不 適	第1項第22号 例示基準18
25．貯 槽 液 面 計	目 視	液面計の型式：（ ） 90%の表示：有・無 自動及び手動止め弁：有・無	適 不 適	24号 例示基準20
26．貯槽配管 のバルブ	目 視	緊急遮断弁以外の貯槽配管に設けたバルブ 貯槽直近弁：有・無 他に1以上のバルブ：有・無	適 不 適	25条 例示基準21
27．緊急遮断 装 置 (5,000□以上)	目 視 試 験	操作機能：空気式・油圧式 操作位置：事務所・従業員控室等及び （ ）2力以上 貯槽より：5m m 作動時間：10秒 秒 月例点検：有・無 受入配管：逆止弁・緊急遮断弁	適 不 適	第1項第26号 例示基準22
28．電気設備	目 視 記 録	防爆性能が適切であるか	適 不 適	第1項第27号
29．冷却設備 及 び 防火設備	目 視 試 験 記 録	水源の保有量：必要量 m <sup>3</sup> 実測 m <sup>3</sup> 散水量：適・不適 操作位置：事務所・従業員控室等及び （ ）2力以上 貯槽より：15m 実測 m 月例点検：有・無	適 不 適	第1項第28号 第1項第31号 例示基準23,26
30．ガス漏洩 検知警報 装 置	試 験 記 録	個 数：点 月例点検記録：有・無 作動状況：テストガス 濃度 % 応答時間：30秒 秒～秒 外部発報：有・無	適 不 適	第1項第29号 例示基準24
31．静電気の 除去措置	目 視 試 験	接地抵抗値：貯 槽 ローリー 総 合 100 ボンディング：有・無 損傷の有無、接続の状況：適・否	適 不 適	第1項第30号 例示基準25

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
32．防 消 火 設 備	目 視 記 録	消火器の設置個数： 個 定期点検： 有 ・ 無 消火栓設置： 有( 個) ・ 無	適 不 適	第 1 項第31号 例示基準26
33．保安電力	目 視 試 験 記 録	保安電力の種類： ( ) 定期 検 査 記 録： 有 ・ 無	適 不 適	第 1 項第32号 例示基準27
34．通報設備	目 視 試 験	通 報 設 備 の 種 類： ( ) 通報設備の作動状況： 適 ・ 否	適 不 適	第 1 項第33号 例示基準28
35．バルブ等 誤 操 作 防止措置	目 視	バルブの開閉方向の明示： 適 ・ 否 流体の種類名、方向の明示： 適 ・ 否 安全弁元バルブの封印等： 適 ・ 否 適切な足場、照度の確保： 適 ・ 否	適 不 適	第 1 項第34号 例示基準29
・貯槽への 充てん ・車止め	目 視	貯槽への充填は90%以内とすること。	適・不適	第 2 項第 1 号の口
	目 視	車止めの有無： 有 ・ 無 (車両に固定した容器の内容積4,000ℓ以上)	適・不適	第 2 項第 1 号のハ

(2) 容器置場 (面積: m<sup>2</sup>)

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
35．警 戒 標	目 視	範 囲 の 明 示： 有： 無 警 戒 標 の 設 置： 有： 無	適 不 適	第 1 項第35号のイ 例示基準1
36．置場距離	計 測 目 視	第 1 種置場距離： 法定 m、実測 m 第 2 種置場距離： 法定 m、実測 m	適 不 適	第 1 項第35号のハ
37．障 壁	目 視	有 ・ 無 (高さ cm × 厚さ cm)	適 不 適	第 1 項第35号の二 例示基準2
38．屋 根	目 視	充てん容器置き場の屋根は、不燃性又は難燃性で 軽量であること。	適 不 適	第 1 項第35号の水 例示基準30
39．滞留防止 措 置	目 視	2 方向以上の開口部があること。	適 不 適	第 1 項第35号のへ 例示基準11
40．消火設備	目 視 記 録	設置個数： 個、定期点検 適 ・ 否 (最小B-10消火器 2 個以上、10tにつき 1 個以上)	適 不 適	第 1 項第35号のチ 例示基準26
参 考		充填容器と残ガス容器の区分： 有 ・ 無 整理整頓(不要なものの有無)： 有 ・ 無 2 m以内の引火性、発火性、火気等： 有 ・ 無 温度計の有無： 有 ・ 無 転倒、転落防止措置： 有 ・ 無 作業心得： 有 ・ 無 充 填 機： 連× 台、 連× 台 転 倒 台： 連× 台		第 2 項第 7 号 のイ 口 ハ 二 ホ  例示基準40,41

## 4 - 2 . 液化石油ガススタンドに係る技術基準 (液石則第8条第1項関係、その他)

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
2．設備距離 (ディスペンサー)	測 定  目 視	第 1 種設備距離 ： 法定 m、実測 m 第 2 種設備距離 ： 法定 m、実測 m 公 道 ： 法定 5 m 実測 m (平成 9 年度以降設置したものに限る。)	適  不 適	第 8 条第 1 項第 2 号  (第 6 条第 1 項第 2 号)
3．障 壁	目 視	定置式製造設備の 3 (第 6 条第 1 項第 3 号) に同じ	適・不適	
4．散水設備	目視・試験	定置式製造設備の 29 (第 6 条第 1 項第 28 号) に同じ	適・不適	
5．防護さく	目 視	車と貯槽との距離 ： 法定 3 m 実測 m 防護さく ： 有 ・ 無	適 不 適	第 8 条第 1 項第 4 号
参 考		ディスペンサー 製作所： W 台、S 台 セーフティカップリング： 有 ・ 無		

## 5. 氣密試驗結果

漏洩：有・無	処置：済・否（処置者：　　）
漏洩箇所：	

## 6. 指示、指導事項

[illegible]